

ゴールデンウィークに 渡航される皆さまへ!



海外には日本にない病気がたくさんあります。安全で快適な旅行にするために、海外で注意すべき感染症をお知らせします。

★ 出発前

渡航先で流行している感染症などを確認しておきましょう。

厚生労働省検疫所サイト「FORTH」には、海外の感染症の最新の流行状況や予防方法、必要なワクチンなどの情報が載っていますのでご活用ください。



FORTHサイト <https://www.forth.go.jp/index.html>

★ 旅行中

特に食べ物や水を介した消化器系の感染症のほか蚊やマダニ、動物などが媒介する感染症には注意が必要です。

また、人から人に広がる感染力の強い感染症が流行・発生している地域があることにも注意してください。

麻しん（はしか）、風しん（三日はしか）に注意しましょう!

- 海外で感染して日本国内へ持込み、感染が広がる事例が多く報告されています。
- 感染予防には、2回の予防接種が有効です。2回接種歴がない方は、渡航前に医療機関にご相談の上、まずは抗体検査をご検討ください。

食べ物や水からうつる感染症 E型肝炎、A型肝炎、赤痢、腸チフス、コレラなど

- 上下水道やトイレの整備が不十分な地域では、水や食品が病原体に汚染されていることがあります。
- 生水を飲まないようにしましょう。氷や生野菜、カットフルーツは避けましょう。
- 生鮮魚介類や生肉などは食べずに、十分に加熱された物を食べましょう。



蚊やマダニが媒介する感染症 マラリア、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、黄熱、ウエストナイル熱、ダニ媒介脳炎など

- 野外活動の際には、長袖・長ズボンを着用するなどして肌の露出は避け、虫除け剤を使用するなど注意をしましょう。



動物からうつる感染症 鳥インフルエンザ、狂犬病、MERSなど

- 野生動物や家畜は、危険な感染症の病原体を持っている可能性があります。
- 海外では、むやみに動物に触らないようにしましょう。



★ 帰宅後

具合が悪くなったら早めに医療機関を受診し、海外に渡航したことや渡航先などの情報を必ず伝えてください。

